

臨時レポート

イタリアの財政赤字目標が相場の波乱要因に

イタリアの財政赤字目標はEU（欧州連合）の財政規律に抵触

- ▶ イタリア政府は2019年の財政赤字目標を対GDP比で2.4%とすることを公表。
- ▶ 市場の予想を上回る数字であったため、イタリアの株式・債券ともに大きく売られる展開に。

9月27日にイタリアの連立政権である同盟と五つ星運動は、財政見通しの叩き台となる政府の考え方をまとめた経済財政計画(DEF)をアップデートし、2019年から2021年の財政赤字目標を対GDP比2.4%とすることに合意しました。予算の赤字幅に関して、市場では1%台後半から2%近辺の数字を予想していたこともあり、2.4%という数字はネガティブに受け止められ、株式・債券ともに大きく売られる結果となりました。

欧州委員会はイタリアに対して、公的債務残高(対GDP比)の低下につながるよう財政赤字の着実な削減を求めてきました。今回の予算案では逆に公的債務が拡大する可能性があることから、欧州委員会はイタリアの予算案に否定的な見方をしていました。

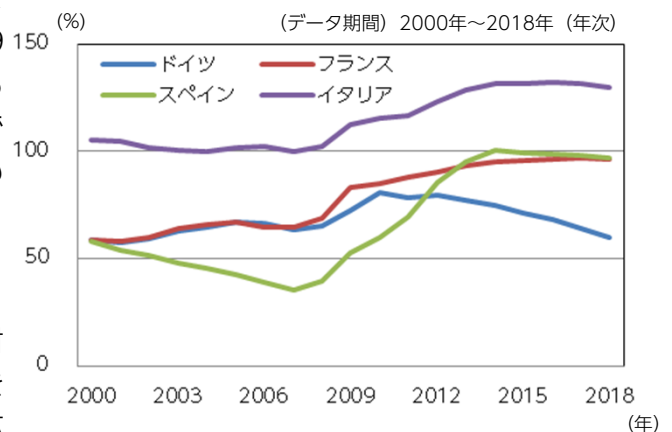
その為、10月3日にイタリア政府は財政赤字目標を2020年2.1%、2021年1.8%とする修正案を提示しました。しかし、欧州委員会は不十分であると改めて懸念を表明し、それに対してイタリアの副首相である同盟と五つ星運動の党首が欧州委員会への批判を強めるなど、イタリアと欧州委員会の対立が続いています。

財政赤字目標を公表して以降、株価指数（イタリア FTSE MIB 指数）は21,646.34（9/26終値）から19,719.04（10/10終値）へと1,927.30ポイント（約8.9%）の下落、イタリア10年国債金利は2.859%（9/26終値）から3.506%（10/10終値）へと0.647%上昇（債券価格は下落）しています。

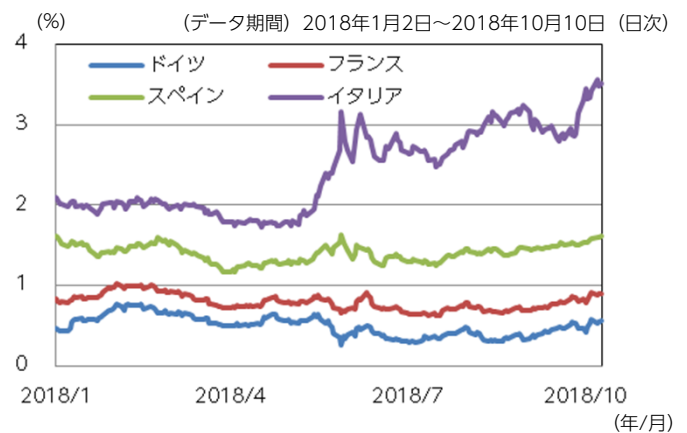
今後のスケジュールは、10月15日までにイタリア政府が2019年予算案を提出し、EU理事会及び欧州議会が11月末までに審議を行った後、イタリア議会が年内に審議・採決を行うこととなっています。

イタリアの公的債務拡大に伴う格付けの見直し（格下げ）や欧州委員会とイタリア政府の対立が続けば、欧州市場の波乱要因につながる可能性もあり、今後の展開を注意深く見守っていく必要があると考えます。

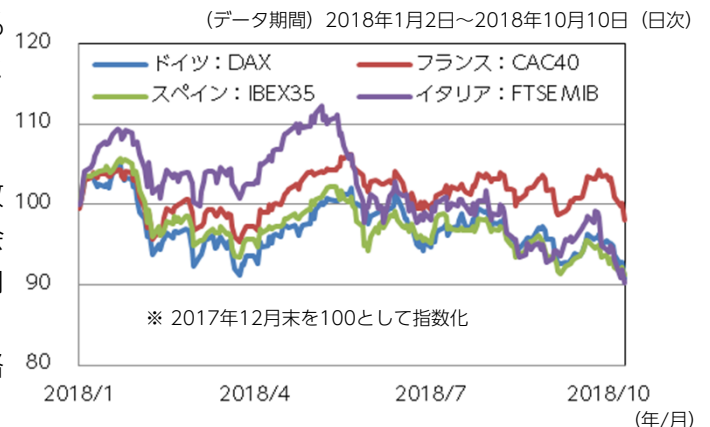
図表1：各国公的債務残高(対GDP比)の推移



図表2：10年国債金利の推移



図表3：株価指数の推移



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>